

おれんじ号の運行について

1 来年4月からの本格的実施 (P4~P7 参照)

平成 22 年 10 月の運行開始から 9 月で 3 年を迎えるが、市民にも定着しつつあり、また、交通空白不便地域の移動手段確保の手法としては、バスより有利であると認められる。

一方で、当初目標としていた収支率 20%には、沖美南部線以外は届いていないことから、利用実績 (H25.4~12) に則して、次の見直しを行ったうえで、来年 4 月から本格的実施とする。

- 上下便の稼働率がいずれも 50% (大須朝夕便については 25%) を下回る便

⇒ 減便

※ 交通空白不便地域の移動手段確保のため、週 3 日・午前午後各 1 往復は最低限確保する。

- 2 名以下の利用が全体の 9 割を超える路線 (大須朝夕便を除く)

⇒ 車両の小型化 (セダン化)

【見直し条件に該当する便 (H24 実績)】

便		上り		下り		備考
		稼働率	平均乗車人数	稼働率	平均乗車人数	
江田島北部	上下①	44.2%	0.62 人	0.0%	0.00 人	大須 8:05 発
沖美北部	上下③	3.2%	0.06 人	25.6%	0.53 人	美能 10:40 発
	上下④	1.3%	0.04 人	5.1%	0.06 人	美能 13:00 発
大須朝夕	上下①	24.7%	0.27 人	0.0%	0.00 人	大須 6:15 発
	上下⑥	1.1%	0.01 人	19.2%	0.25 人	大須 18:45 発

【各路線の 2 名以下の利用の割合】

(江田島北部) 1, 081 便 / 1, 248 便 = 86.6% (P4 参照)

(沖美北部) 1, 191 便 / 1, 248 便 = 95.4% (P5 参照)

(沖美南部) 1, 899 便 / 2, 808 便 = 67.6% (P6 参照)

2 沖美南部夜間便の実験運行 (H25.10~)

沖美地域から要望の強い 18 時台のおれんじ号 (中町~三高往復) を実験的に運行する。

ただし、12 月までの平均乗車人数が 1 便あたり 2 名に満たない場合、運行を打ち切る。

	中町棧橋	是長口	大王	是長	美能	三高棧橋
下り	高 17:57→ 18:05	18:11	18:17	18:24	18:34	18:41 →フ 18:45
上り	19:21	19:15	19:09	19:02	18:52	フ 18:40→ 18:45

3 運行事業者の決定

引き続き、タクシー協会江能支部へ調整を一任する。